

平成26年11月25日 民間船舶を活用した医療機能の実証訓練

東京港晴海ふ頭において内閣府主催の「民間船舶を活用した医療機能の実証訓練」が行われました。大規模・広域災害が発生した場合の海からのアプローチについて、その有効性や運用にあたっての課題を明らかにするために、医療資機材を搭載したフェリーを使用して訓練が行われたものです。首都直下地震で被災した傷病者などが岸壁に接岸したフェリーに次々と救急車で搬送され、車両甲板に設置されたテントの中で東京DMATによって人工透析などの医療措置訓練が行われました。フェリーは電力、水も供給可能で客室もあり、車両の乗り入れも可能なことから災害時の医療活動に有効に機能するのではないかということです。

一 訓練開始前の有職者ミーティング一



一 日本赤十字社の緊急対応ユニット車一



一 傷病者を搬送してきた救急車一



一 人工透析を受ける患者一



一 次々に搬送されてくる傷病者に対応するDMATスタッフ一



一 訓練に使用されたフェリー一

